

ICTで

緑区デジタル活用促進事業PRイベント

人生をもっと豊かに

令和5年 **3/4** **土** 14:00~16:00
(開場13:30)

会場 緑公会堂 **入場無料** **事前申込制**

基調講演

わかみや まさこ
若宮 正子さん

81歳でゲームアプリ「hinadan(ヒナダン)」を開発した世界最高齢プログラマー。これにより米国アップル社CEOよりWWDC(世界開発会議)に特別招待された。2017年より数々の政府主催会議の構成員を務める。

- 著書「老いてこそデジタルを。」他
- エクセルアートの創始者

パネルディスカッション

(パネリスト、ファシリテーターの詳細プロフィールは裏面を御覧ください。)



よこやま たらう
横山 太郎さん

横山医院
在宅・緩和クリニック院長
竹山スマホセンター長



ハン チャンヒ
韓 昌燾さん

横浜市市民協働推進センター
主任研究員



すぎやま くにひろ
杉山 郡啓さん

NPO法人みどり
ITコミュニティサポーターズ
(MICS) 副理事長



ファシリテーター
(進行)

さわおか しの
澤岡 詩野さん

(公財)ダイヤ高齢社会研究財団
主任研究員

定員 400名(先着順)

- 定員に達した場合は締切ります。
- 手話通訳・要約筆記があります。(当日、受付でお申し出ください)
- 終了後、スマホ相談ができます。
- いただいた個人情報は、イベントの運営のみに使用いたします。

申込方法

下記のいずれかの方法で
氏名(ふりがな)、電話番号をお伝えください。

- ① **電話** 祝日を除く月曜日から金曜日の8:45~17:00
- ② **FAX** 裏面のFAX申込書に記入してお送りください。
- ③ **WEBページから電子申請**
右の二次元コードからアクセス



※マスクを着用してご来場ください。入場の際に検温、手指消毒をお願いいたします。 ※新型コロナウイルス感染症拡大等の時はイベントを中止する場合があります。
※37.5度以上の発熱があるなど体調の優れない方は、入場をお断りすることがあります。

問合せ・申込み先

緑区地域振興課 地域力推進担当

TEL 045-930-2237 FAX 045-930-2242

メール md-chiikiryoku@city.yokohama.jp

緑区デジタル活用促進事業とは

近年、インターネットを使っての情報の取得や各種の申請手続きなど、生活の中でICT(情報通信技術)が果たす役割はますます大きくなっています。ICTを利用して、それらの恩恵を得られる人と、うまく利用できないために恩恵が得られない人との間に格差が生じています。

このため令和4年度から区内の活動団体や各施設、緑区が連携してより多くの区民の皆様がスマホ・パソコンを活用するきっかけとなる事業を実施しています。今回のイベントは広くこの事業をPRするために開催するものです。

PROFILE

横山 太郎さん (よこやま たらう)

医師となり一貫して「がん」の領域に関わる。現在は横山医院 在宅・緩和クリニックの院長。高齢者が人とつながるためにスマホを利用することを提唱し、地域住民と竹山スマホセンターを立ち上げた。

韓 昌燾さん (ハン チャンヒ)

韓国ソウル出身。東京工業大学で「地域課題に対応したコミュニティ空間計画と運営に関する研究」で博士学位を取得。現在、同大学で特別研究員、みどり国際交流ラウンジやNPO法人横浜プランナーズネットワーク副理事長としても活躍中。

杉山 郡啓さん (すぎやま くにひろ)

通信機器メーカーを退職後、平成15年12月にMICSの設立に参加し、緑区役所との協働事業として、市民のパソコン、スマホの普及に努める。緑区スポーツ協会会長等を歴任。また、みどり国際交流ラウンジ(令和3年3月開設)の施設長として多文化共生の街づくりに努める。

ファシリテーター 澤岡 詩野さん (さわおかしの)

専門は豊かな歳の重ね方を追求する「老年社会学」。地域コミュニティでの「友人未満で知り合い以上のゆるやかなつながり」や「居場所」のあり方、つながり続けるためのインターネットの可能性を調査研究している。



横浜市緑区寺山町118番地
JR横浜線、市営地下鉄(グリーンライン)
中山駅南口から徒歩5分
公共交通機関をご利用ください。

FAX申込書



FAX番号 045-930-2242

「3/4 緑区デジタル活用促進事業PRイベント」迄

氏名(ふりがな)

電話番号